



D.I. 質問箱

Q59

マイコプラズマ肺炎の血液検査について教えてください。

A59

PA法とCF法の2種類があります。ペア血清（2週間以上の間隔）で4倍（2管差）以上の抗体価上昇があるか、あるいは、シングル血清の場合PA法で320倍以上、CF法で64倍以上の抗体価があれば、診断価値は高いと言われています。

主として、PA法はIgM抗体を、CF法はIgG抗体を測定しています。

感染が疑われる場合には、急性期での測定で抗体価上昇が見られないことがありますので、少し期間を開けて再検査をして判断してください。

再検査を行った場合は、レセプトに経過を詳しく記入してください。

『感染症を知るシリーズ（第3回）』マイコプラズマ肺炎の症例報告では、9日目40倍、11日目320倍と発症から1週間以上たって上昇しています。）

*マイコプラズマ感染症は、再感染も見られるためCF抗体価は高値を持続することがあります。

お問合せ：学術データインフォメーション（D.I.）課まで
0120-14-8734（フリーダイヤル） / 082-247-4325（ダイヤルイン）



NHKスペシャル「男が消える」によると、人間のY染色体が数百万年以内、早ければ来週にも消滅しても不思議でない状況になっているという。男は狩猟時代からそれなりに生き延びるための役割を果たしてきた。しかし現代では女性の進出が目覚ましく、男の存在価値が揺らいできている。その上絶滅に瀕しているとは！女性はクローン技術を駆使し自分たちだけで生き延びるだろう。そこで世の女性にお願いしたい。男はトキの如く絶滅種なのでもう少し優しく接してほしい。サギ（師）を見るような目で見ないでほしい。女性は男の表情から感情・体調を看破できる。一方、男は必死に脳を働かせても外すし、女性の髪形が変わったことさえ気づかない（メス化された男にはできるらしい）。このことは生来備わった男女の脳やホルモンの働きの違いであることも理解してほしい。

前田 亮（臨床部長）

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博 / 熊川 良則 / 高磨 潤

